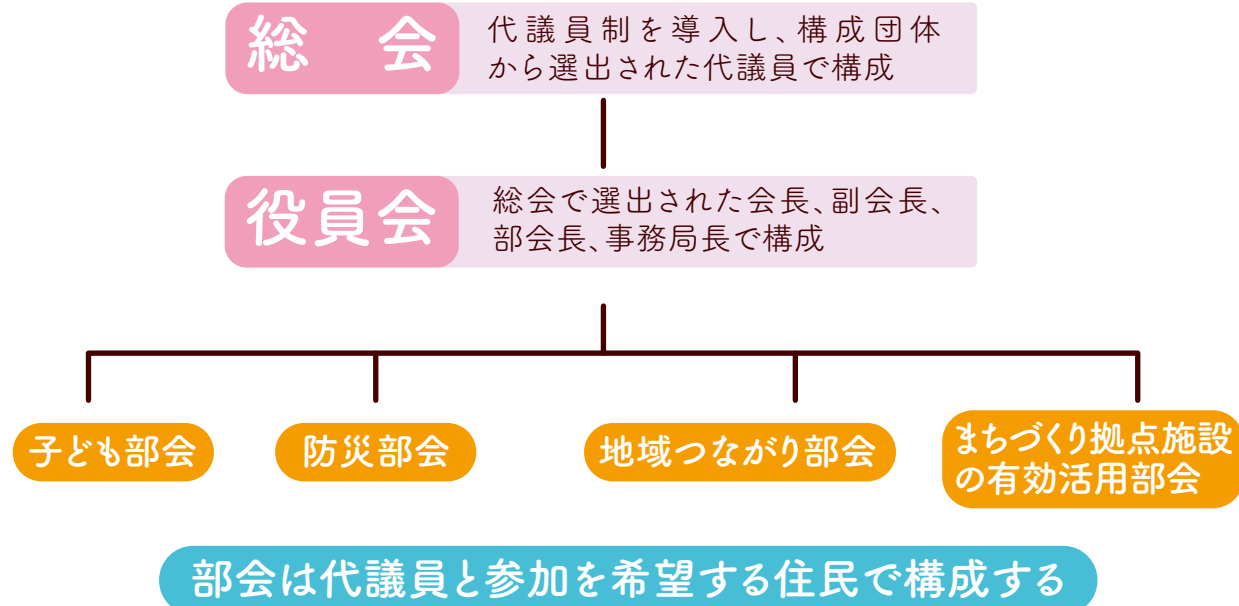


まちづくり活動にはだれでも参加できます!

協議会の組織

城南地区(令和元年9月末)
総世帯数:3,809世帯 総人口8,561人



役員・代議員のみなさんをご紹介します!

役員 会長 深津 和男 副会長 森田 正明・笠井 定雄・伊藤 清文

自治会連合会

会長 江口 政雄
副会長 森田 正明

社会福祉協議会

会長 大須賀 可次
副会長 笠井 定雄

民生委員児童委員協議会

陽和ブロック長 伊藤 清文
城南区域長 山下 ひろ子

城南小学校

校長 諸戸 美香

城南小学校PTA

会長 中村 寛昭

関係団体

第13分団 金森 功
老人会長 山下 進
健康推進員 伊藤 恵子

ボランティア団体

子育て支援わかば会 余郷 幸子
城南こどもくらぶ 後藤 三保子
通いの場安永サロン 森 敬枝

公募又は前年度連合自治会三役 深津 和男・森田 則夫・山下 洋一

編集後記

まちづくり協議会が設立され、その活動を城南地区の皆様にお知らせするため、創刊号発行の運びとなりました。協議会の活動が充実したものとなるように皆様方のご理解ご協力およびご参加をお願いいたします。

城南まちづくり協議会

事務局長:西脇 局員:佐々
〒511-0838 桑名市和泉667
TEL 0594-22-0034
FAX 0594-22-0058
事務所(所休日) 月曜日~金曜日 午前9時~午後5時

城南 まちづくり 協議会 だより

創刊号

令和2年1月1日

新しい城南に向けて



新しい城南に向けて

桑名市では、現在、地域のことは「地域で決める・取り組む」新しい地域コミュニティ組織（まちづくり協議会）の形成を進めています。城南地域の目指す将来像について、平成29年城南地区自治会連合会と城南地区社会福祉協議会の共同で「安心して楽しく暮らせる城南地区にするためのアンケート調査」を全戸配布により実施しました。これをきっかけに平成30年度に、城南地区住民の関心ごとや地域の在り方のテーマということで、●地域のつながり、●子ども、●災害、●まちづくり拠点施設の有効活用の4つのテーマでまちづくり会議をスタートさせ、検討を進めてきました。

まちづくり協議会は、地区の様々な団体が地区の課題や情報を共有し、城南地区の将来像や実情にあった活動について、話し合い、継続的・計画的に住民同士の「助け合い、支え合い」による地区運営を進めることを目的としています。設立準備委員会を経て、本年5月18日、伊藤徳宇市長を来賓に迎え、60名の出席で設立総会を挙行了しました。市長からは、期待と激励の祝辞をいただきました。

設立準備委員会会長を仮議長に規約案、役員選出の審議を経て、原案どおり承認されました。初代会長には、前自治会連合会会長で、設立準備委員会会長の私が選ばれました。続いて、令和元年度の事業計画案、予算案、専門部会設置案が承認され、まちづくり協議会が始動することになりました。今後は城南地区住民の皆様のご理解とご協力を得ながら、新しい城南のまちづくりに向けて、地域運営を進めてまいりたいと思っています。（会長：深津 和男）



活動する部会

まちづくり協議会四部会の本年度の活動を紹介します。

防災部会

『身を守るのは自分自身である』との自覚と備えを持って、気象情報や災害情報を注意深く見守る必要があることは当然の事ながら、地域や近隣住民同士の助け合いによって被害をできる限り抑えたいとの思いから、部会テーマとしたのが避難の在り方でした。

逃げ遅れないための『声かけマップ』の作成を推進すべく、モデル地区で先行取り組み中です。更には、避難するタイミングの難しさから、各々の避難に必要な情報・判断・行動を時系列的に整理した個人の防災行動計画（マイ・タイムライン）の作成に関しても必要性を感じ、取り組みを開始しています。

過去の災害に学び、備えをもとに二度と同じ轍を踏まないようにしたいものです。（部会長：森田 則夫）



子ども部会

『子どもたちの為に何ができる？』『今、何が必要なんだろう・・・？』って考えてくださる大人が城南地域にはとてもたくさんお見えになります。私自身、まち協の子ども部会と関わりがなければ気がつきませんでした。地域で子どもを見守り、地域で子どもを育てる！そんな思いを持ってくださっている方がたくさん見えるにも拘わらず、そのことを知らない大人もたくさんいます。そして、子どもたちは通学途中やいろいろな地域との活動の中で見守られていることを知っているし、実感している気がします。まち協が立ち上がり、その中の一つに子ども部会があります。冒頭に書いたような話し合いをして、実際に活動できるように考え、動く。そのことを少しでもたくさんの子育て世代の方々に知ってもらえたら、今以上に子育てしやすい地域になるのではと思います。

（部会長：後藤 三保子）

地域つながり部会

城南まちづくり協議会の中のつながり部会では、現在生活している中で、となり近所でも疎遠になっている現代、いかにつながり人が集まることができるかと思いついたのがラジオ体操でした。これなら老若男女問わず誰でも参加できるのではないかと、子どもたちの夏休みに城南地区をリレー方式によりラジオ体操でつないでいく計画を立て、連合自治会の協力を得て、城南17ヶ所で実施しました。7月20日から8月10日の期間で、延べ1400名の参加をいただき、まちづくり協議会初めてのイベントとして、大成功をおさめたのではないかと考えています。参加することで、色々な人と出会い話すことで、様々な情報を得ることができるのではないのでしょうか。とにかく、参加していただければ話に花が咲き、地元の問題や可能性が引き出され、分かってきます。また、参加してもらった人達のパフォーマンスを最大限発揮してまちづくりをしていけたら、この地域は衰退しません。さて、ラジオ体操のあと、何をしようかと思案しています。この地域には、観光資源はありません。何かアイデアがあれば教えてください。

今、人生100年時代超高齢社会といわれます。まちづくり協議会のグループに参加して、元気な城南まちづくりの発展に寄与しませんか？メンバーが足りません、どうかよろしく願いいたします。（部会長：森 泰造）



つながりを求めて

拠点施設の有効活用部会



私たちの部会では、昨年4月から地域に開放されたこれまでの事務所の活用を主な取り組みとしています。「つながりルーム」と名付けられた旧事務所では、これまで禁止されていた飲食が可能となったことから、毎週月曜日にはつながりサロンを開催、時には大人数の茶話会が催されています。部屋の一角には図書コーナーが設けられ、皆さんから寄贈された本が幼児から大人向けまで揃っています。また、子ども食堂や種々の会合に利用され、利用の幅が広がっています。今年3月には卓球珈琲がオープンし卓球台、カフェスタンド、20名程が利用可能な机・椅子が常設されています。地域の皆さんが気軽に立ち寄り楽しく集える場となるようお願いながら、活動を続けていきたいと思っています。（部会長：山下 ひろ子）

